

2026.4.15

本協会ホームページをご覧の皆様

(一財) 秋田陸上競技協会

「サークル投てきにおけるシューズ規程適用除外」について

ワールドアスレティックス (WA) から日本陸上競技連盟 (JAAF) 充てに、別紙のとおり通知がありました。本県の各競技団体におかれましても、通知文のとおり競技運営をしていただきますようお願いいたします。

不明な点などございましたら担当までご連絡ください。

2026年4月10日より、サークルから行われる投てき種目（砲丸投、円盤投、ハンマー投）で競技者が着用するシューズは厚さ・種類とも制限なしとする。

※WAの承認シューズに掲載されたもの以外のシューズも着用することができる。靴底の厚さ制限はなし。

【本件担当】

(一財) 秋田陸上競技協会

競技委員長 櫻田 文人

E-mail: ayatosakurada1221@gmail.com

勤務先: 秋田県立秋田南高等学校中等部

TEL: 018-833-7431

加盟団体・協力団体
専務理事・理事長 各位
審判部長・競技部長 各位

公益財団法人日本陸上競技連盟
専務理事 田崎 博道
競技運営委員長 鈴木 一弘

サークル投てきにおけるシューズ規程適用除外（通知）

平素は、日本陸上競技界発展のため格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ワールドアスレティックス（WA）は去る3月19日のカウンスル会議にて競技規則や競技用靴に関する規程の再改正を承認しております。適用開始日は調整中とされていましたが、靴規程改正の適用開始は2026年4月10日とする旨、4月2日付通知文で各国陸連宛てにありました。改正内容の詳細と本件に関する取扱は下記の通りとなります。関係者へのご周知方ご協力よろしくお願い致します。

なお、今回WAから通達があったその他の競技規則改正については国内適用開始日等も含めて改めてお知らせいたします。

記

・ **WAシューズ規程の改正内容：** カウンスル会議において、サークルから行われる投てき種目（砲丸投、円盤投、ハンマー投）を、競技用靴に関する規程（Athletic Shoe Regulations）の適用対象から除外することが承認されました。これにより、当該種目の競技者は任意のシューズを着用することが認められます。

・ **改正の背景：** この改正は、当該種目においてシューズが競技成績に実質的な優位性をもたらすという明確な科学的根拠がないこと、ならびに、専門的でないシューズが使用される場合に当該規則順守を徹底することの実務的な困難さと、過度な影響を考えてのことです。

・ **国内での適用除外開始：** 2026年4月10日より（WRk競技会およびその他の公認競技会）

【参考】

今後のWAによる対応について： 将来の技術開発により競技成績や公平性に重大な影響が出ることが示された場合には、WAはこれらの種目に特定のシューズ規程を再導入する権限を保持します。なお、改正後の規程は、WAのウェブサイト（Book C: Competition - C2.1A Athletic Shoe Regulations）に後日掲載される予定とのことです。（本日時点未掲載）

問い合わせ先：
公益財団法人日本陸上競技連盟
事務局 競技運営委員会担当：吉澤・浅田
TEL050-1746-8410 / compe-tech@jaaf.or.jp

以上